

指定管理者評価シート(第1次評価)

所 管 課	こども家庭部 こども家庭室 こども・若者政策課 総合政策部 参画協働室 市民活動推進課
評価対象期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	川西市市民活動センター・川西市男女共同参画センター
	所 在 地	川西市小花1-8-1 102号及び206号
	設置目的	社会貢献をめざす市民活動や、男女共同参画社会の実現を推進する活動を支援するための公共施設
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制	完全利用料金制
指定管理者	名 称	特定非営利活動法人市民事務局かわにし及び株式会社ジョイン川西
	所 在 地	川西市小花1-8-1 104号
指定管理業務の内容	<p>(1) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの設置目的を達成するための事業の実施に関する業務</p> <p>(2) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの使用の許可、使用の制限、使用許可の変更等に関する業務</p> <p>(3) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの立入調査に関する業務</p> <p>(4) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの利用に係る料金（「利用料金」）の收受等に関する業務</p> <p>(5) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの施設及び付属施設の維持管理に関する業務</p> <p>(6) 川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの設置目的を達成するため市長が必要と認める業務</p>	
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日	

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A
① 事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	A
③ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	B
<p>[所見]</p> <p>① 市民活動センターと男女共同参画センターの併設館として、その両方の設置目的達成のため、概ね事業計画に則った事業運営ができています。</p> <p>② 「利用者視点」に立った取組みにより、施設利用者(来館者総数)及び登録グループ数は、昨年度に引き続き増加しており、効果があったといえる。</p> <p>③ 平成25年度は、情報紙を年2回発行し、ホームページを定期的に更新し情報を発信しているが、今後は情報紙の発行頻度を増やすなど、より積極的な営業・広報活動が必要である。また、市内公共施設などとの連携についても、新たな連携施設の開拓や講座の回数を増やす必要がある。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>より多くの市民に市民活動センターと男女共同参画センターを利用していただけるよう情報発信や営業・広報活動に工夫や改善を加え、さらなる利用者の増加及び認知度の向上に努めていただきたい。今後も、利用者の要望をできる限り取り入れた講座内容を検討し、場合によっては、夜や週末開催など、平日に参加が難しい層の参加を想定した講座の企画を検討する必要がある。</p> <p>また、講座内容によっては難しいかもしれないが、講座定員を開催する部屋の規模に合わせるなど、より多くの人に参加できる工夫をする必要がある。</p>	
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A
① 施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A
② 実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B
<p>[所見]</p> <p>① 昼間の貸室利用率・稼働率は、平日及び土日祝日ともに前年度より増加している。また、以前より課題であった夜間の貸室利用率・稼働率について、平日は前年度より増加しており、土日祝日は前年度より減少しているが、概ね有効に利活用されている。</p> <p>② ・男女共同参画センターとしての事業 講座への参加人数 53人減 (H24 704人⇒H25 651人)</p> <p>・市民活動センターとしての事業 講座への参加人数36人減 (H24 162人⇒H25 126人)</p> <p>※ 男女共同参画センターとの共催分を含む。 市民活動・NPOサポート相談件数 80件増 (H24 267件⇒H25 347件)</p> <p>上記事業のうち、男女共同参画センター・市民活動センターとも講座への参加者は、昨年度から減少している。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>講座への参加人数が減少しているため、広報活動の工夫や市民のニーズを把握した時代に即した講座内容の改善、夜間利用が増加する方策を検討するなど見直しに努めていただきたい。</p>	

(3) 利用者の満足度	A
① 利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A
② 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	A
③ 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A
④ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A
<p>〔所見〕</p> <p>①市民からの意見や提案に対して、丁寧に対応している。 ②③市が施設利用者に対して行ったアンケート結果でも、職員の対応に満足している方が多く、施設利用者の満足度は高い。 ④運営体制の改善やスタッフの研修など、サービスの質の向上に取り組んでおり、アンケート結果からも効果が得られているといえる。</p>	
<p>〔改善項目〕</p> <p>施設利用者の満足度は、非常に高く、今後も市民目線に立った運営に努めていただきたい。</p>	

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A
(1) 経費の節減 ① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。 ② 指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A
[所見] ① 総支出額は増加しているが、主に電気料金の値上げに伴うものであり、全体として経費節減に取り組んでいる。 ② 自動ドア設備や空調設備の保守点検・機械整備については、ジョイン川西で保守点検の実績がある業者と契約するなど、経費削減に努めている。	
[改善項目] 今後も引き続き、経費削減に努め、利用者にも節減についての理解と協力を求め、さらなる取組みをお願いしたい。	
(2) 収入の増加 ※利用料金制を採用している場合のみ評価	B
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B
[所見] 貸室利用者及び利用料金について、どちらも昨年度より増加しているが、「フリースペース」の利活用は今後検討が必要である。	
[改善項目] 一般利用グループにさらに利用してもらえよう、情報発信や広報活動などに努めていただきたい。	
(3) 収支のバランスなど ※利用料金制を採用している場合のみ評価	A
① 収支のバランスが適切であったか。	A
② 経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	A
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。	A
[所見] ① 収入の増加への取組みや支出の削減に努めており、収支のバランスは適切である。 ② ほぼ事業計画書どおりの経費の執行ができており、積極的に経費節減にも取組み、効果的・効率的な経費の執行ができています。 ③ 透明性を図る観点から、毎月税理士のチェックを受けるなど、適切な執行に努めている。	
[改善項目] 次年度以降も引き続き、適切な経費の執行及び運営に努めていただきたい。	

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A
(1) 管理運営の実施状況	A
① 施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	A
② 業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A
③ 施設の維持管理が適切に行われたか。	A
④ 指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。	B
<p>〔所見〕</p> <p>①管理運営状況に応じ、適切に人員配置されている。 ②運営に関する研修や管理に関する防災訓練の研修など、適切に行っている。 ③施設維持管理計画書に基づき、適切に行われている。 ④新たな取組みである「フリースペースで活動発表など掲示の募集」は、わずか1団体のみ応募であったため、周知の方法や広報活動に工夫を加え、取組みの見直しや改善が必要である。</p>	
<p>〔改善項目〕</p> <p>施設の経年劣化については、中長期的な計画を立て、常時、利用者にとって快適な施設となるよう努めていただきたい。</p>	
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A
① 施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	A
② 施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	A
④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A
⑥ 利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。	A
⑦ 利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	
<p>〔所見〕</p> <p>①施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動について、概ね行われている。 ②市の個人情報保護規定に準じて、適切に行われている。 ③④⑤各マニュアルを整備し、管理スタッフを中心に適切に行われている。また、住居部との合同での防災訓練を実施するなど、適切な危機管理体制がとれている。 ⑥市民誰もが平等にセンターを利用できるよう配慮されている。</p>	
<p>〔改善項目〕</p> <p>個人情報の保護や安全対策、危機管理体制などについては、常日頃からの取組みが重要であることから、人員の少ない土日祝日の体制を想定した訓練や予告なしの訓練を今後は実施していただきたい。</p>	

総合評価

[所見]

評価ランク

A

第2期指定管理の1年目にあたり、常勤スタッフを2名増強し、事業等の効果的・効率的な実施に努められた結果、来館者総数の増加と昼間の貸室利用率・稼働率の上昇に繋がった。また、利用者視点に立った管理運営も合わせて実施されたことが、利用者アンケートの結果として、「清潔感や癒しの空間づくり、暖かく優しい対応」など満足していただく評価となった。

施設の管理面においても、経年劣化に対する補修や修理など適切な維持管理がなされた。

[改善項目]

体制の強化が図られたことで、より一層センターの機能が充実したと考えられる。今も実施されている以上に、センターの設置目的について、丁寧に説明し啓発されることで両センターの利用率アップ、認知度アップにつながると考えられる。

さらに、市民活動センターと男女共同参画センターの併設館のメリットを生かし、市内の公共施設との連携を進めていただきたい。